

# 祝日データ（祝日一覧.csv）について

## データの格納イメージ

1948 / 09 / 23, 秋分の日	<sup>C</sup> <sub>R</sub> <sup>L</sup> <sub>F</sub>
a        b c       d e       f g        h i	
1948 / 11 / 03, 文化の日	<sup>C</sup> <sub>R</sub> <sup>L</sup> <sub>F</sub>
a        b c       d e       f g        h i	
1948 / 11 / 23, 勤労感謝の日	<sup>C</sup> <sub>R</sub> <sup>L</sup> <sub>F</sub>
a        b c       d e       f g        h i	
1949 / 01 / 01, 元旦	<sup>C</sup> <sub>R</sub> <sup>L</sup> <sub>F</sub>
a        b c       d e       f g        h i	

- a. 年（西暦4桁半角数字） [4バイト]
- b. 半角の「/」（スラッシュ） [1バイト]
- c. 月（ゼロパディング2桁半角数字） [2バイト]
- d. 半角の「/」（スラッシュ） [1バイト]
- e. 日（ゼロパディング2桁半角数字） [2バイト]
- f. 半角の「,」（カンマ） [1バイト]
- g. 祝日名（Shift-JIS 全角文字） [nバイト]
- h. キャリッジリターン（CR） [1バイト]
- i. ラインフィード（LF） [1バイト]

※ 2019/08/29 時点での 2050 年までのデータです。法律改正などがあつたら上記を参考に修正して下さい。

また間違いなど有りましたらメール（[lucky\\_333@nifty.com](mailto:lucky_333@nifty.com)）でご連絡下さい。

※ 同じ日付のデータは作らないで下さい。

（同一データが有る場合は処理する側によって結果が変わってしまいます）

※ データの内容などについては保証しません。個人の責任でご使用下さい。

# 既存のワークシート関数のみで「祝日一覧.csv」を利用する方法

マクロを禁止されている環境で利用可能です。【 Excel2003 以前編 】

## ☆ 準備

- ① 「祝日一覧.csv」を開いて必要数シートを増やします。
- ② ファイルの種類を「Microsoft Excel ブック (\*.xls)」に指定して、適当な名前で作成します。

## ☆ 使用例

- ・ 直接日付を指定する場合

=IF(ISERROR(VLOOKUP(DATE(2019,5,4),祝日一覧!A:B,2,FALSE)), "", VLOOKUP(DATE(2019,5,4),祝日一覧!A:B,2,FALSE))  
⇒ みどりの日

- ・ セル参照の場合（ A1 セルに「2019/5/4」という日付が入力されていた場合）

=IF(ISERROR(VLOOKUP(A1,祝日一覧!A:B,2,FALSE)), "", VLOOKUP(A1,祝日一覧!A:B,2,FALSE))  
⇒ みどりの日

## ☆ 注意事項

- ※ セル参照の場合日付データに時間のデータが含まれているとヒットしません。
- ※ 「祝日一覧」シートは、タイトル行無で「A列」が「昇順」でソートされている必要があります。

# 既存のワークシート関数のみで「祝日一覧.csv」を利用する方法

マクロを禁止されている環境で利用可能です。【 Excel2007 以降編 】

## ☆ 準備

- ① 「祝日一覧.csv」を開いて必要数シートを増やします。
- ② ファイルの種類を「Excel ブック (\*.xlsx)」に指定して、適当な名前で保存します。

## ☆ 使用例

- ・ 直接日付を指定する場合

=IFERROR(VLOOKUP(DATE(2019,5,4),祝日一覧!A:B,2,FALSE)&"", "")

⇒ みどりの日

- ・ セル参照の場合（ A1 セルに「2019/5/4」という日付が入力されていた場合）

=IFERROR(VLOOKUP(A1,祝日一覧!A:B,2,FALSE)&"", "")

⇒ みどりの日

## ☆ 注意事項

- ※ セル参照の場合日付データに時間のデータが含まれているとヒットしません。
- ※ 「祝日一覧」シートは、タイトル行無で「A列」が「昇順」でソートされている必要があります。